



表紙、目次、執筆者紹介、規約、編集後記、編集委員、奥付、裏表紙

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-10-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/00017079

言語文化学研究

英米言語文化編

第 15 号

- Aphra Behnの*The Younger Brother*について——非演劇的構成
近藤 直樹 1
- Embracing Gaia in Gary Snyder's
“The Arts Council Meets in Eureka” and Other Poems
Kevin Keane 21
- ウィリアム・C・フォークナー（1825-1889）研究
——その生涯と二つの長編小説『メンフィスの白い薔薇』と
『れんが造りの小さな教会』を中心に——
相田 洋明 31

2020年 3 月

大阪府立大学人間社会システム科学研究科
人間社会学専攻言語文化学分野

執筆者紹介（掲載順）

近藤 直樹 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 人間社会学専攻 言語文化学分野 教授

ケイン ケビン 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 人間社会学専攻 言語文化学分野 講師

相田 洋明 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 人間社会学専攻 言語文化学分野 教授

規 約

- 1) 雑誌『言語文化学研究』は、3分冊とし、それぞれ「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」とする。
- 2) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員は、雑誌『言語文化学研究』に投稿することができる。
- 3) 下記3つの範疇に属する者で、大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員の推薦を受けた者は、『言語文化学研究』に投稿することができる。
 - (1) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
 - (2) 大阪府立大学人間社会学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
 - (3) その他特に、大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員が認めた者
- 4) 投稿は未公刊学術論文に限る。
- 5) 原稿の査読・採否の判断その他の編集業務はすべて編集委員会の決定にしたがって行う。編集委員会は、教授1名以上を含む委員構成にする。なお、査読は複数の査読者によって行われる。
- 6) 投稿方法、原稿の書式については別に定める投稿規定、執筆要項を参照のこと。
- 7) 掲載原稿の著作権は、著者に帰属する。ただし、編集委員会は、掲載原稿を電子化し、公開・配布するための権利を有するものとする。
- 8) 掲載原稿は原則的に、大阪府立大学学術情報リポジトリOPERA (<https://opera.repo.nii.ac.jp/>) に登録し、公開する。

編 集 後 記

『言語文化学研究 英米言語文化編』第15号をお届けします。

本分冊「英米言語文化編」には、英米文学3編の論文を掲載いたしました。

『言語文化学研究』は、「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」の3分冊から成り、本誌に掲載の論文は、大阪府立大学学術情報レポジトリOPERAでも閲覧可能です。<https://opera.repo.nii.ac.jp/>

編集委員

山崎正純（「日本語日本文学編」担当）
近藤直樹（「英米言語文化編」担当）
中村直子（「言語情報編」担当）

2020年3月31日発行
〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-1
大阪府立大学人間社会システム科学研究科
人間社会学専攻言語文化学分野

Journal of Language and Culture

British and American Language and Culture

Vol. 15

Undramatic Structure of Aphra Behn's <i>The Younger Brother</i>	Naoki Kondo	1
Embracing Gaia in Gary Snyder's "The Arts Council Meets in Eureka" and Other Poems	Kevin Keane	21
A Study of William C. Falkner (1825 – 1889) —His life and his two novels, <i>The White Rose of Memphis</i> and <i>The Little Brick Church</i> —	Soda Hiroaki	31

2020

Department of Language and Culture
Graduate School of Humanities and Sustainable System Sciences
Osaka Prefecture University